



赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」

東日本大震災の支援金「ボラサポ」の募金期間を9カ月延長！ ～福原愛さん、石川さゆりさんら6名のスペシャルサポーターも継続して応援～

社会福祉法人中央共同募金会(会長 斎藤十郎)が運営する、赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金(ボラサポ)」は、東日本大震災で被災された方々を支援するボランティア・NPO 活動に対して行う助成事業です。震災直後より財務省から「特定震災指定寄付金」の告示を受けて運営してききましたが、2013年3月31日でこの告示期間が切れることになっていました。このたび、以下の状況が財務相に認められ、2013年12月31日まで告示が延長されることになりました。

【告示延長を要望した背景】

- ・被災3県をはじめ避難先となる日本全国で多くの活動が行われている状況であること
 - ・助成を開始した当初は緊急救援活動が多かったが、徐々に生活支援活動および復興支援に変化してきているなど、今後も状況の変化に応じた課題解決の取り組みが求められていること
 - ・ボラサポへの応募数が減少せず、こうした資金支援の必要性がまだまだ高いこと
 - ・50億円という目標額に対して寄付実績は40億円と、2015年3月まで助成を続けるため、さらなる募金が求められること
- これによりボラサポの募金期間も2013年12月31日まで9カ月の延長が認められました。引き続き、法人の寄付は全額損金として認められるなど、寄付者に税制優遇の措置が講じられることとなります。ボラサポは今後も「支える人を支える」ため、募金の協力を積極的に呼びかけるとともに、必要とされる活動への助成を続けていきます。

【スペシャルサポーターもボラサポを継続して応援！】

ボラサポの趣旨に賛同し、発災直後から6人のスペシャルサポーターが応援を続けてくださっています。当初は2年間の募金・助成の予定で始まったボラサポですが、募金期間は9カ月、助成期間は2年間の延長が決まりました。スペシャルサポーターのみなさんもこれからの支援の必要性に強く共感していただき、このたび6名全員が継続してボラサポを応援して下さることになりました。スペシャルサポーターからのメッセージは次ページでご紹介します。

【ボラサポ スペシャルサポーター】(五十音順)

- ・池上彰さん(ジャーナリスト)
- ・石川さゆりさん(歌手)
- ・大日方邦子さん(パラリンピックアルペンスキー金メダリスト)
- ・木村多江さん(女優)
- ・多部未華子さん(女優)
- ・福原愛さん(ロンドンオリンピック 卓球・女子団体銀メダリスト)

◆ スペシャルサポーター特設ページ <http://www.akaihane.or.jp/er/p10.html>

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(愛称:ボラサポ)とは?

東日本大震災の被災地における支援活動には、ボランティアグループやNPOが大きな役割を果たします。こうした活動を資金面で支援するため、赤い羽根の中央共同募金会では、赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」(ボラサポ)を運営しています。ボラサポは、2015年3月までの約4年にわたり、被災地での支援活動を支えます。

ボラサポ募金&助成情報 (3月31日現在累計) 募金総額:41億475万円 助成実績:28億2093万円

★助成決定内容・団体自身による活動レポートは中央共募ホームページをご覧ください <http://www.akaihane.or.jp/er/p3.html>

★助成応募しやすい助成金です:5名以上のグループで活動した場合は助成対象となるなど、非常に助成申請しやすい支援金です。また、支援活動をマネジメントする専門的な人材への人件費も助成対象となり、被災地での活動を全面的に支えます。

●お問合せ・くわしい資料は: 社会福祉法人中央共同募金会 企画広報部 担当: 仲本・城(じょう)まで
TEL: 03-3581-3846 (FAX: 3581-5755) kikaku@c.akaihane.or.jp ホームページ www.akaihane.or.jp
ボラサポ公式Facebookページ www.facebook.com/borasapo

■ 池上彰さん



時間が経っても、被害は続いています。復興を待っているうちに、健康を崩していく被災者たちは、新たな被害を受けているのです。
何かできないか。せめて、被災者に寄り添っている人たちを応援できないか。これがボランティアやNPOに対するサポートです。
あなたにも、まだできることがあるのです。

■ 石川さゆりさん



大変な災害から2年が経ちました。でも、被害に遭われた場所の多くは、今も変わりありません。
まだまだ先の見えない復興への道だからこそ、風化させずに皆で手を繋ぎ続けて、心を通わせたいと思います。
小さな勇気でも分かち合えるのであれば、私は皆さんの顔に笑顔が戻る日まで、その時出来る事を、あきらめずに継続していこうと思います。

■ 大日方邦子さん



東日本大震災から2年の歳月が流れました。
時間が経つにつれ関心が薄れてしまっていることが気になっています。
元の生活を取り戻すことが出来ていない方はまだまだたくさんいらっしゃいます。
ここでもう一度、震災のことをみなさんと考えたいと思います。
多くのボランティア活動を支えたボラサポの助成総額が28億を超えました。
大変すばらしいことです。引き続きボラサポのサポーターを務めながら、私も皆さんと一緒に被災地に対して、私達アスリートが出来る活動を継続していきます。
みんなで一緒に、今後も“支える活動への支援”を継続していきましょう。

■ 木村多江さん



あれから二年たち、復興に向かってはいます。
私が先日見た町にはダンプカーが走り、整地されてきていました。
でも私たちに起こったこと、現実を忘れないでいたいと改めて思いました。
何かを失った悲しみは続いている…。
涙を笑顔にかえてあゆんでいる方々がほっとできるように、引き続き応援し続けたいと思います。

■ 多部未華子さん



あれから2年の月日が経ちましたが、皆さんに気持ちの変化はありましたか？
きっと誰もが、2年前に起こった出来事を風化させてはいけなく、忘れてはいけなく、
と思っていると思います。もちろん私もその中のひとりです。東日本大震災がひとつの
転機にはなっていないですか？守ることや人を救うこと、ひとつになること。皆さん一人
一人、それぞれ気持ちの中に変化が生まれたと思います。
ボラサポが延長すると聞き、私にとっても皆さんにとっても私たちにできることを考える
きっかけに、そして東日本大震災を今一度考えることに繋がるのであればいいなと思
いました。
2年経った今だからこそできること、支えられること、守れること、救えること、微力なが
らも手を差し伸べられる術があること、一緒に考えてみませんか？

■ 福原愛さん



今年で東日本大震災から2年となりましたが、これまで多くの方々のご尽力により復旧
は進んでいるものの、現在も仮設住宅での厳しい生活を余儀なくされている方々も多
く、復興にはまだまだ時間が必要な状況です。
私はこれまで自分自身に出来ることを考え、少しでもお役に立てるよう、アスリートの立
場で取り組ませて頂きましたが、被災された方々を現地で定期的にご支援されている
災害ボランティア、NPOの皆様の「長期に渡る支援の力」が、今後益々必要だと感じ
ています。
支える人を支える「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」は、息の長い支援を行
うために必要な取り組みとなりますので、私も皆様と一緒にこれからも応援したいと思
います。